長期収載品の選定療養の制度について

医療上の必要があると認められず、患者さんの希望で長期収載品を処方した場合は、長期収載品と後発医薬品（ジェネリック医薬品）の差額 4 分の 1 相当の金額が、選定療養として患者さんの自己負担になります。

選定療養は保険給付ではないため、公費も適応になりません。選定療養は調剤薬局でお薬の受取り時にお支払いとなります。

※長期収載品・・・後発医薬品(ジェネリック医薬品)がある先発医薬品

◇対象の方

- ・ 外来患者さんの院外処方および院内処方
- ・ 後発医薬品が市販されて 5 年以上経過した長期収載品(先発医薬品)

参 考 : 厚 生 労 働 省 か ら の お 知 ら せ

<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001282666.pdf>

ご不明な点などございましたら、受付窓口にてお問い合わせください。